

News Release

“今”の交通安全課題を的確に捉える子どもたちの交通安全ポスター
『高齢者運転・免許返納』を呼びかける作品、昨年度の約8倍に急増
 「ながら運転」の罰則が強化される中、『スマートフォンの使用マナー』
 7年連続で訴求テーマのトップに

JA共済連が主催する「第48回JA共済 全国小・中学生 交通安全ポスターコンクール」には、全国から15万4,996点の応募があり、全国コンクールでは各都道府県から選出された優秀作品355点の審査を行いました。本会では、平成16年度から、全国コンクール審査作品のテーマを集計し、小・中学生が、今、どのような視点から交通安全を捉えているのかを分析しています。本年度も、社会を鋭く見つめた示唆に富む結果がまとまりましたので、ご報告します。

■ 『スマートフォンの使用マナー』、『高齢者運転・免許返納』、『安全運転(思いやり運転)』がトップ3

自動車運転中の携帯電話使用等にかかる交通事故件数の増加^{*}を背景に、本年12月に「ながら運転」に対する罰則が強化されました。今回のテーマ分析においても、『スマートフォンの使用マナー』を呼びかける作品は構成比16.3%を占め、7年連続で訴求テーマのトップとなりました。

訴求テーマの第2位は、『高齢者運転・免許返納』の9.3%、『安全運転(思いやり運転)』が9.0%と続きました。中でも、第2位の『高齢者運転・免許返納』を描いた作品は、前年度の1.1%から、構成比ベースで約8.2倍に急増。小学2年生から中学3年生まで幅広い学年の子どもたちが、交通安全ポスターの題材に選んでいます。

本年は、高齢ドライバーによる交通事故が多発しました。子どもたちのポスターからは、「大好きなおじいちゃんやおばあちゃんに、事故の被害者にも加害者にもなっ



〔小5作品〕

※ 警察庁HP:「やめよう!運転中のスマートフォン・携帯電話等使用」 (<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/keitai/info.html>)

■ 令和時代最初の交通安全ポスターコンクールは、ドライバーに注意を促す作品が目立つ



上記の『高齢者運転・免許返納』以外にも、本年度のポスターは、『アクセルとブレーキの踏み間違えに注意』という新たな題材が登場したほか、『安全運転』が前年度の構成比5.4%から9.0%に、『あおり運転禁止』が2.3%から5.9%に増加するなど、ドライバーに向けた作品が多く描かれました。

当コンクールは、交通事故死者数がピークを迎えた昭和40年代に開始。以来、子どもたちの鋭い視線から、常に、今、最も対策が求められる交通安全の課題を描き出してきました。本年度の作品からは、大人たちドライバーに注意を呼びかけたいという、子どもたちの声が聞こえてきます。

《全国コンクール審査作品(抜粋)》

◇訴求テーマ 第1位：『スマートフォンの使用マナー』



〔小4作品〕



〔中2作品〕



〔中3作品〕

◇訴求テーマ 第2位：『高齢者運転・免許返納』



〔小2作品〕



〔小6作品〕



〔中2作品〕

◇訴求テーマ 第3位：『安全運転』



〔小1作品〕



〔小4作品〕



〔小6作品〕

◇その他、ドライバーに呼びかけるポスター作品



〔小 2 作品〕



〔中 1 作品〕



〔中 3 作品〕

＜交通安全ポスターコンクール 訴求テーマと社会の動き（過去 5 年間）＞

交通安全ポスターコンクール分析からは、子どもたちが、その時々交通安全に関する旬のテーマに非常に敏感であることがわかります。

年度	訴求テーマ	社会の動き
令和元年度	「スマートフォンの使用マナー」 【第1位】	運転中の携帯電話使用・注視等による事故件数の増加などを受けて、本年12月に「ながら運転」の罰則や反則金、違反点数を厳罰化する改正道路交通法が施行。ながら運転による事故の抑止と運転マナー向上が期待される。
	「高齢者ドライバー・免許返納」 【第2位】	本年4月に東京・池袋で80代が運転する自動車が横断歩道に突っ込み、12名の死傷者を出す事故が発生。3日後には、60代の市営バス運転手が歩行者をはね6人が死傷するなど、高齢ドライバーが加害者となる事故が相次いだ。
平成30年度	「スマートフォンの使用マナー」 【第1位】	「iPhone」(iPhone3G)が日本に初上陸した2008年から10年経過。その間、パソコン並みのインターネット機能を備えているほか、文字や写真でコミュニケーションを図るという新たな文化も定着した。基本機能である「通話」に加えて、「見る」「聴く」「入力」などの動作も加わったスマートフォンは、利用方法によっては、道路上や交通施設などにおける事故危険性も高く、引き続き、各種企業・団体による啓発活動が行われている。
平成29年度	「スマートフォンの使用マナー」 【第1位】	注目されやすい画像・動画を撮影しSNSに投稿するため、“ながらスマホ”による事故が急増したほか、高齢者ドライバーに関連した交通事故や、“あおり運転”による事件が報道で大きく取り上げられた。
平成28年度	「スマートフォンの使用マナー」 【第1位】	スマートフォン用アプリで人気キャラクターゲームが配信。大人を巻き込んだ社会現象となる反面、そのマナーが度々指摘された。
平成27年度	「スマートフォンの使用マナー」 【第1位】	“ながらスマホ”が社会問題として定着。警察、鉄道各社、携帯電話各社等、様々な企業・団体が啓発活動を展開。

【詳細データ】令和元年度（第４８回）交通安全ポスターテーマ集計表

テーマ	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	合 計	%
スマートフォンの使用マナー	0	4	1	4	4	8	10	11	16	58	16.3%
高齢者運転・免許返納	0	1	6	4	6	4	3	7	2	33	9.3%
安全運転(思いやり運転)	4	6	2	6	4	3	3	2	2	32	9.0%
飲酒運転禁止	0	0	1	3	3	5	4	6	2	24	6.8%
よく見て渡ろう	13	6	2	0	2	0	0	0	0	23	6.5%
あおり運転禁止	0	2	4	1	4	4	1	0	5	21	5.9%
手を挙げて渡ろう	7	3	3	0	1	3	0	0	0	17	4.8%
信号を守ろう	4	3	0	1	3	0	4	1	0	16	4.5%
シートベルト・チャイルドシート着用	4	3	2	3	2	2	0	0	0	16	4.5%
ヘルメット着用	3	3	2	2	0	2	1	1	1	15	4.2%
自転車も車両	0	0	3	2	1	1	1	4	3	15	4.2%
交通ルールを守ろう	3	1	1	1	0	3	3	1	0	13	3.7%
反射材・明るい色の服の着用	0	0	4	1	1	0	0	3	0	9	2.5%
無灯火危険・早めのライト点灯	1	0	1	1	1	0	1	1	3	9	2.5%
アクセルとブレーキの踏み間違い注意	0	0	1	2	1	1	1	1	1	8	2.3%
交通安全	1	0	0	0	0	2	1	1	0	5	1.4%
スピード出しすぎ注意	0	0	1	2	2	0	0	0	0	5	1.4%
交差点・曲がり角に注意	0	0	1	2	1	0	0	0	0	4	1.1%
傘さし運転禁止	0	0	2	0	0	0	1	1	0	4	1.1%
一列歩行(右側歩行)	0	2	0	0	1	0	0	0	0	3	0.8%
飛び出し禁止	0	1	1	1	0	0	0	0	0	3	0.8%
その他	1	5	2	2	3	1	3	2	3	22	6.2%
	41	40	40	38	40	39	37	42	38	355	100.0%

※構成比につきましては、表示単位未満を四捨五入して表示しています。